《小中一貫校》
宇治西小倉学園だより

巨椋野（おぐらの）

開校準備委員会
令和７年３月発行
第４号
宇治西小倉学園　開校準備広報

宇治西小倉学園開校準備委員会

≪第5回　開校準備委員会≫

日時　：　令和7年1月27日（月）19時～

場所　：　西小倉小学校ランチルーム

委員長から、「コミュニティ・スクールとしての施設一体型小中一貫校」についての説明・提案などの話がありました。

1. 開会
2. 報告事項
   ・宇治西小倉学園開校準備委員会設置要項について
3. 専門部会の取組状況について
4. 専門部会毎の協議
5. その他
   ・次回日程について
6. 閉会

制服部会の議論の状況

報　告

制服部会としての、制服の検討（「制服の有無」や「制服の着用時期」の検討）を一旦終え

学校において、これまで２年間行ってきた「セル服ウィーク」の取組内容や、制服部会の検討も踏まえ、**『中学校から制服を着用する』**とした上で、制服のデザインについてのアンケートを、学校から児童生徒・保護者へ実施したところです。

現在の西小倉中学校の制服

開校準備委員会の内容や、小中一貫校の整備内容などについては、こちらから

＜宇治市教育委員会HP＞

タイムリーな内容などを、公式インスタグラムで発信しています

NISHIOGURA_IKKANKOU

＜宇治西小倉学園 Instagram＞

発行元　：宇治西小倉学園開校準備委員会

宇治西小倉学園開校準備委員会

校歌・校章部会の議論の状況

校歌・校章の種類の検討

校歌と校章は、小学校・中学校ごとではなく宇治西小倉学園として、１つの『学園歌』『学園章』を作成することが望ましいのではないか。

校歌の作成方法案の検討

案①：　キーワードを西小倉地域（児童生徒・保護者・地域）に公募し、西小倉地域の児童生徒を中心に専門家も交えて作詞・作曲を行う。

案②：　キーワードを西小倉地域（児童生徒・保護者・地域）に公募し、作詞・作曲は専門家に依頼する。

案③：　すべてを専門家に依頼する。

校章の作成方法案の検討

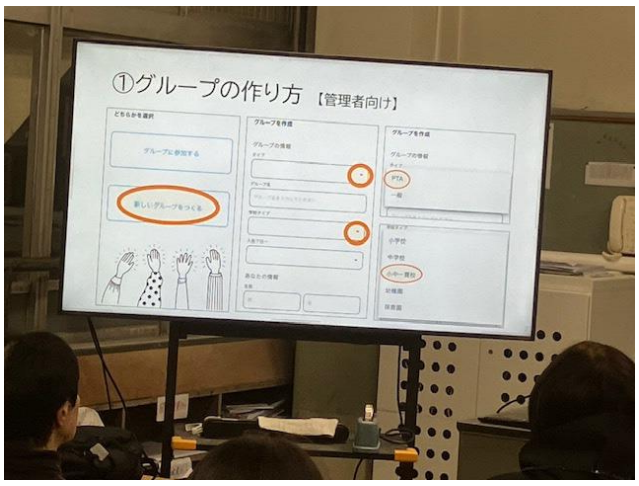
案①：　校章デザインを西小倉地域で公募（児童生徒・保護者・地域）し、部会で絞り込んで投票を行う。

案②：　すべてを専門家に依頼する。

こども見守り部会の議論の状況

登下校の見守りの方法の検討

登下校の見守りの方法の１つとして、スマートフォンなどのアプリを活用できないかを検討しています。Ｈｉ！（ハイ！）というアプリは、ボランティア活動等の参加者を募るような仕様となっており、定点見守りに活用できないかを検討しています。まずは、専門部会のメンバーで、アプリを使い勉強を行いました。



西小倉中学校敷地内の整備の状況

令和７年２月中旬の工事の様子です。

回廊型の校舎棟は３階部分まで、アリーナ棟についても、少しずつ立ち上がってきました。

北小倉小学校に雪山出現！！

土曜の居場所づくり「きたおぐらワクワク広場」として、令和７年１月２５日に、北小倉小学校において、雪遊びが行われました。

自然の雪が兵庫県から１０トン車３台分運ばれ、北小倉子育て連絡会と学校、ＰＴＡが協力して大きな雪山を作りあげました。

雪山では、子どもたちが、そり遊びを楽しみ、ワクワクは止まりませんでした。

それぞれの学校で素晴らしい取組みがあり、宇治西小倉学園においても、子どもたちのワクワクする気持ちを大切にしていきます。

宇治西小倉学園の体育館シューズについて

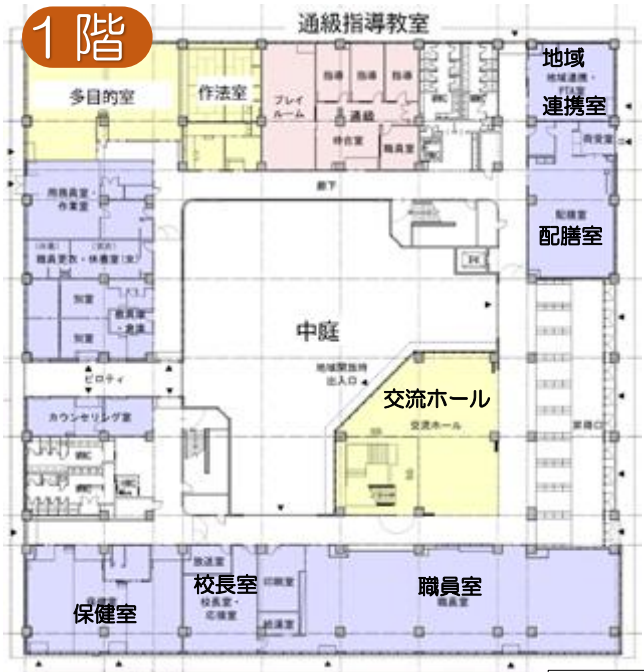
三角ゴムタイプ
（小学校指定品）

紐靴タイプ
（中学校指定品）

令和８年度開校の宇治西小倉学園では、体育時の安全性への配慮等から小学生も指定の体育館シューズを使用することにいたします。基本的な着用は令和８年度からとなりますが、今後の買い替え時等にあわせて指定のシューズや宇治西小倉学園開校後の小学生用体操服を購入することもできるようにする予定です。なお、現在使用していただいている体操服につきましても、宇治西小倉学園開校後も使用していただくことができます。

※詳細は学校からの案内をお待ちください。

宇治西小倉学園の施設紹介　～校舎棟編～



交流ホール１F（イメージ）

メディアセンター2F～4F（イメージ）

施設概要①　フロア毎の配置

2F に小学校１～３年生の普通教室と特別支援学級、3F に小学校４～６年生の普通教室、4F に中学生の普通教室と特別支援学級を配置します。

施設概要②　メディアセンター

学校の中心にあるメディアセンターは廊下とつながった開放された、「図書館・学習スペース」です。2F に小学校用図書、4F に中学校用図書を配置し、3F では ICT 機器を活用したグループ学習など多様な活用をします。

施設概要③　コモンズ・教師ステーション

開放空間のコモンズでは「授業や行事」「メディアセンターとの一体的活用」を行います。教師ステーションもあり、教師と触れ合う場にもなります。

引き続き、宇治西小倉学園について、様々な事柄の紹介を行いますのでよろしくお願いします。